

平成二十七年入学試験問題

国語

試験日 平成二十七年二月四日(水曜日)
開始時刻 午後一時
終了時刻 午後二時

注意事項

- 一、この冊子は二十ページです。落丁、乱丁、印刷の不鮮明などがあつた場合には申し出て下さい。
- 二、解答はかならず解答用紙(マークシート)の指定されたところの番号をマークしてください。
- 三、解答用紙の受験番号欄には、かならず受験番号(七ケタ)を記入し、その番号をマークしてください。
- 四、解答用紙への記入は黒鉛筆を、解答を消す場合は、プラスチック消しゴムを使用してください。
- 五、解答用紙は試験が終了したら、かならず提出してください。
- 六、試験室内で配布された問題用紙は、持ち帰って結構です。

一 次の文章はドイツのベルリンを活動の場としながら、日本語とドイツ語で創作している作家、多和田葉子さんの文章です。これを読んで、後の問いに答えなさい。

- ① 赤い煉瓦の建物の多いドイツから列車で入ると、フランスの町は冷たい石でできているという印象が強い。統一感のある陰った白い建物が訪問者を突き放すように並んでいて、その白はイタリアのように洗濯物や植物に色づけられることもなく、アジアやアメリカの町のようにネオンや看板に飾られることもない。
- ② トウールはパリから特急で一時間ほど南西にくだつたところにある町で、この町の大学で文学を教えているBさんが「フランスのルネッサンスの代表的な町だよ」と言うので、勝手にポッティエリの『春』のような雰囲気のある町を想像して行つてみたら、建物も路地も石で固められていた。一ヶ月の滞在のために借りた部屋は窓が小さく、天井が低く、圧迫感のある黒い太い柱が天井に何本も渡りあつた。しかももう春も近いというのに例外的に寒く、雪までちらついて、北国のようなしつかりした暖房もないので、触ると部屋の壁が冷たかつた。

- ③ さつきから冷たい、冷たいと書いているが、それは建物の石の感触が冷たく感じられるだけであつて、決して人間が冷たいのではない。旧市街の中心に屋内市場があつた。これまで見たこともないようなおいしそうなチーズが並んでいて、わたしのような者がつたないフランス語で何か訊いても、こちらの言いたいことが解るまで、楽しみながら付き合つてくれる。それはコピー屋に入つても、パン屋に入つても同じである。同じレストランに二度目に入れば、「あ、また来ましたね」と喜んでくれる。④ パリでは、店の人がこんなになつてきた記憶はないので、町に出るのが楽しかつた。
- ⑤ フランス語のほとんどできないわたしは、仕事の合間に語学学校にも通つた。わたしは、フランス人の語学教師は、文法を聖典のように崇めていて、文法について話している時には決して冗談など交えず、細かいまちがいにとても厳しいという偏見をずっと持っていたが、この偏見もトウールに来てすぐ消えてしまった。生徒がいっしょうけんめい何かを言おうと

◇M1 (054—1)

◇M1 (054—2)

— 1 —

すれば、少しくらい(と言うか、ひどく)まちがっていても嬉しそうに頷きながら聞いている。それどころか、生徒が文法的なまちがいをオカシ、それがたまたま面白いと、いかにも楽しそうに笑っている。私も存在しない形容詞を作つて、笑わせた。決して軽蔑して笑っているのではなく、正解はやさしく丁寧に教えてくれる。

⑤ A、フランス人はこうでドイツ人はこうだという国民性の違いを強調して考えすぎるのはわたしたちの悪い癖で、ヨーロッパ人としての共通性の大きさと、個人差の大きさを考慮すれば、国民性などというのは小さなものだ。もしドイツ人とフランス人の間に違いがあるとしたら、それは何より歴史体験が違っているからであつて、生まれつき性格が違っているわけではない。

⑥ ある日、その語学学校の会話練習で、クラスの生徒の一人であるアメリカ人が「僕は先月、東ヨーロッパに行つてきました」と言つた。フランス人教師が「東ヨーロッパのどこですか?」と訊くと、生徒が「モスクワです」と答えた。すると教師は「モスクワはヨーロッパではありません。東ヨーロッパというのは、ブラハやブダペストのことです」と正した。そのアメリカ人は「あ、そうですか?」と納得したようだったが、わたしは少し驚いた。ドイツではブラハやブダペストのことを「東ヨーロッパ」と言つて東ヨーロッパではなくて中央ヨーロッパでしょ」と言い直される。東ヨーロッパの代表がモスクワであるはずだつた。

⑦ B 東や西というような境界線はどこかにはつきり引かれているのではなく、人が移動するといつしよにずれて動いていくらしい。わたしの中で世界地図がぶれて、また一枚層を増した。

(注) 多和田葉子——一九六〇年。一九九三年、『天婿入り』で芥川賞受賞。

(多和田葉子『溶ける街 透ける路』)

問一 第1段落で描かれているフランスの町の印象を表す言葉として適切でないものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 1。

- ① 無愛想
- ② 無機質
- ③ 幾何学的
- ④ 非人間的
- ⑤ 陰気

問二 第2段落で語られている筆者の体験は、本文全体の趣旨からみてどのような体験であつたと考えられるか。その説明として最適なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 2。

- ① 先入観どおりの現実などめつたにあるものではないという体験
- ② 先入観にしばらくされると現実を見失ふという体験
- ③ 先入観は物事の認識を誤らせるという体験
- ④ 先入観と現実の違いこそ意味があるという体験
- ⑤ 先入観は他者に強い影響を及ぼす虚構であるという体験

◇M1 (054—3)

— 2 —

◇M1 (054—4)

— 3 —

問三 傍線①「わたしのような者が」という言い方には、「わたし」という言い方とは異なる自己意識があります。筆者は自分をどういう者と考えているか。その説明として最適なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は

3

◇M1 (054—5)

- ① 初めて出会う人たちにへりくだっているわたし
- ② 文学者の立場から外国を研究して歩く異邦人としてのわたし
- ③ 他人に分かり易く説明しにくい仕事に従事しているわたし
- ④ 氏素性のはっきりしないいがわしい人物としてのわたし
- ⑤ 土地になじみのない行きずりの旅人としてのわたし

問四 傍線②「パリでは、店の人がこんなに人なづかった記憶はないので、町に出るのが楽しかった」とあるが、本文全体の趣旨からみて、ここでの体験から筆者はどのようなことを考えたのか。その説明として最適なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は

4

— 4 —

- ① 国民性を考えるのはそれほど意味のあることではない。
- ② トウールの人々の温かさから「ころ変われば品変わる」は本当である。
- ③ 知らない土地になじむには地元の人々の優しさが一番である。
- ④ パリでは他者への品の良い無関心さが都市の空気となっている。
- ⑤ つたない語学力でも意欲さえあれば人々と交流できるものである。

問五 傍線③を含んだ第4段落には、筆者のどのような気持ちが感じられるか。その説明として最適なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は

5

◇M1 (054—6)

- ① 事実認識を誤らせる偏見は恐ろしいものである。
- ② 偏見を打ち破る新たな事実に触れるのは楽しいことだ。
- ③ 人間は無意識のうちに偏見を持つものだ。
- ④ 偏見は真実に気づかせる逆説的な効用がある。
- ⑤ 人間である以上偏見を持つことは避けられない。

問六 空欄 A、B に入る語の正しい組み合わせはどれか。最適なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は

6

— 5 —

- | | | |
|---|---|------|
| ① | A | しかも |
| ② | A | だいたい |
| ③ | A | もつとも |
| ④ | A | だいたい |
| ⑤ | A | しかも |
| | B | おそらく |
| | B | そして |
| | B | どうやら |
| | B | どうやら |

問七 二重傍線部「オカシ」と同じ漢字を書くものを選び、その番号をマークしなさい。解答番号は

7

① 物語のボウトウ

② 床上にシンスイする

③ ボウハンカメラ

④ ハンザツな仕事

⑤ 相互フカシン条約

◇M1 (054—7)

問八 波線部②「られる」、③「れる」、④「られ」、⑤「れ」はみな助動詞「れる・られる」です。五つのうち一つだけ文法上の意味が他と異なるものがあります。ア、それはどれか。イ、その文法上の意味はなにか。最適なものを選び、その番号をマークしなさい。解答番号は、アが

8

9

— 6 —

- | | | | | | | | | | | |
|---|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|
| ア | ① | a | ② | b | ③ | c | ④ | d | ⑤ | e |
| イ | ① | 受身 | ② | 可能 | ③ | 自発 | ④ | 尊敬 | ⑤ | 使役 |

問九 傍線④「わたしの中で世界地図がぶれて、また一枚層を増した」とあるが、私の世界の見方がどう変化したということか。その説明として最適なものを選び、その番号をマークしなさい。解答番号は

10

◇M1 (054—8)

- ① 固定観念が破られ、私の世界の見方が多様で重層的になった。
- ② 偏見が解消したことによって、私が生きる世界の範囲が拡大した。
- ③ 先入観が否定されたことで、私の人間理解がいつそう深まった。
- ④ 異なる見方の対立を目の前に見て世界への不安が高まった。
- ⑤ 人間の移動という現象と世界の見方との関係に興味がそそられた。

— 7 —

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

いまは、モノも人も、経済も情報も、国境をさまさまに行きかうようになりました。国の内から外へ、また国の外から内へ、往き来することがごく普通のことようになってきた。けれども、言葉はこうだろうかと思えるのです。

言葉は人の生活の日常に深く結びついています。それだけに、おたがいの日常を親しく固く結び合わせるようになればなるほど、それぞれの人にはつきりとした限界を背負わせるのも、言葉です。それぞれの国にとつての国語のように、それぞれを深く結び合わせると同時に、言葉は、それぞれにその言葉の限界を背負わずにいないのです。言葉以上におたがいを非常に親しくさせるものはありません。A、その言葉を共有しないとき、あるいはできないとき、知らない国のまるで知らない言葉がそうであるように、言葉くらい人ははじくものもありません。キワ立つて親和的にもなれば、キワ立つて排他的になるのも、言葉です。

けれども言葉には、もう一つの言葉があります。在り方も、はたらかしも異なる、別の言葉。ないもの、ここにもないもの、どこにもないもの、誰も見たことのないもの、見えないもの、そういうものについて言うことができる言葉です。

B、社会という言葉。社会という言葉は誰でも知っていますが、実際に、社会という言葉が社会だと、机を指すように、草花を指すように、これが社会だと指すことはできません。世界という言葉もおなじです。世界ということを知っていても、世界というものを、この目で見たことではないのです。

C、心のなかよりほか、どこにもないものについて言うことのできる言葉があります。自由、友情、敵意、憎悪。そういった言葉は、誰も見たことがないけれども、そう感じ、そう考え、そう名づけて、そう呼んできた、そういう言葉です。国境を越える言葉、あるいは越えられる言葉ということを考えるとき、じつは国境を越える言葉というのは、このないものについて言うことのできる言葉ではないだろうかと思うのです。国境を越えるというのは、外国の言葉をいくらか覚えるというのとは違う。ないもの、見えないもの、D、ということだと思ふのです。

自由という言葉について思いめぐらすとき、わたしたちは自由という言葉はどこからやってきたか、考えます。自由を見た人はいない。机の上に転がっているものでもないし、公園にゆけばあるというものでもない。店で買えるものでもない。しかし、わたしたちは自由という、言葉を知って、自由という言葉を通して、自由というものを感得し、そう感じられる感覚をそう呼んで、そう名づけて、その言葉を自分のものにしてきました。

そして思うことは、日本語の自由という言葉に表され、わたしたちがその言葉によって感じとることのできる感覚を、異なる国々で、違う土地で、いま、おなじように、それぞれの国の言葉、土地の言葉で、自由と呼び、自由と名づけて、おなじに感じている人びとがいるだろう、ということなのです。

そういう確信を可能にするのが、国境を越える言葉のちからであり、そのようにそれぞれの言葉を通して、おたがいを繋ぐべき大切な概念を共有することが、じつは言葉を異にするおたがいの共生を可能にしてゆくのだ、というふうに通ずるのです。

(長田弘『なつかしい時間』)

問一 この文章のキーワードとなっている言葉として、最適なものを次の中から選び、番号をマークしなさい。解答番号は11。

- ① 親和的な言葉と排他的な言葉
- ② 国境を越える言葉
- ③ 限界を背負わせる言葉
- ④ 自由という言葉
- ⑤ 見えないものを表す言葉

問二 書き出しの二つの段落はこの文章の中でどのような役割を担っているか。その説明として最適なものを次の中から選び、番号をマークしなさい。解答番号は12。

- ① 国際化が進展する現状を提示するとともに、言葉の持つ二面性に注目させることで、言葉が概念の共有を可能にするという本論への導入部となっている。
- ② 世界的にモノや人の交流が拡大する一方で、言葉の限界が障害となっていることを示し、それを乗り越えて共生を可能にする努力を訴える本論への導入部となっている。
- ③ 国境を越えて経済も行きかう時代にあつて、言葉が海外の人には排他的に機能しがちであることに気づかせ、相互理解の重要性を説く本論への導入部となっている。
- ④ 現在の国際交流の拡大は経済や情報の分野で進んでいるが、国際理解が不足していることを指摘し、言葉によつて人を結びつけることを説く本論への導入部となっている。
- ⑤ 本今の国際化は単なるモノや人の往き来の拡大ではないことを示し、言語と文化の理解が重要だという本論への導入部となっている。

問三

空欄A、B、Cに入る言葉の組み合わせとして最適なものを選びなさい。解答番号は13。

- | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| ① A | ② A | ③ A | ④ A | ⑤ A |
| ① A | ② A | ③ A | ④ A | ⑤ A |
| ① A | ② A | ③ A | ④ A | ⑤ A |
| ① A | ② A | ③ A | ④ A | ⑤ A |
| ① A | ② A | ③ A | ④ A | ⑤ A |
- ① A ② A ③ A ④ A ⑤ A
- ① A ② A ③ A ④ A ⑤ A
- ① A ② A ③ A ④ A ⑤ A
- ① A ② A ③ A ④ A ⑤ A
- ① A ② A ③ A ④ A ⑤ A

問四

傍線部④「限界を背負わせる」とはどのようなことか。その説明として最適なものを次の中から選び、番号をマークしなさい。解答番号は14。

- ① 言葉によつて心を伝えることには限界があり、誤解されることも少なくないこと
- ② 言葉を共有できない人とは親しくなれないところか、排除されることもあること
- ③ 外国語を多少学んだからと言って、簡単には友人にはなれないこと
- ④ 習得可能な外国語の数には限りがあり、だれとでも言葉を共有できるわけではないこと
- ⑤ 言葉だけで知らない人と固く結ばれるということ、めつたに起こらないこと

問五

傍線部⑤「はじく」に最も近い使い方がされている文を二つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は15。

- ① このセンサーは不良品を感知すると、生産ラインからはじく。
- ② 子どもたちがどんぐりをはじいて、遊んでいた。
- ③ このスプレーをくつにかけると、雨水をはじくようになる。
- ④ 旅行の幹事になったので、総経費をはじき出さなければならない。
- ⑤ 音楽に合わせて、指をはじく。

問六 傍線部③「もう一つの言葉」に当てはまらないものを次の中から一つ選び、番号をマークしなさい。解答番号は

16。

- ① 心の中で感じる感覚を表した言葉
 ② 見えないものについて言うことができる言葉
 ③ 異なる国々で同じような名前では呼ばれる言葉
 ④ 自由や友情のように形として示せない言葉
 ⑤ 概念を共有できるようにする言葉

問七

D

に入れる表現として最適なものを、次の中から選び、番号をマークしなさい。解答番号は

17。

- ① その言葉でしか感得できないものを、国と言葉を異にするおたがいのあいだでどんなふうを持ちあえるか
 ② それを外国語で、国と言葉を異にする人々に正確に伝え、おたがいのあいだで理解を深め、共感しあえるか
 ③ その感じ方や考え方を表す適切な言葉を見つけ、国と言葉を異にするおたがいのあいだでいかにして共有できるか
 ④ それを表すのにふさわしい日本語を考案し、国と言葉を異にするおたがいのあいだでどのように感得させるか
 ⑤ その言葉ならではの感覚や概念を、国と言葉を異にするおたがいのあいだでどのように伝え合っていくか

問八

本文の内容に合致しないものを次の中から一つ選び、番号をマークしなさい。解答番号は

18。

- ① 言葉は人を親くさせ、結びつけることがある一方で、知らない国の知らない言葉を話す人を排除するように機能することもある。
 ② 人間はある感覚や考え方に名前をつけ、自分のものにするともに、他者はその言葉によって概念を知り、共有することが可能になる。
 ③ 国境を越える言葉というのは、日常生活に深く結びついた言葉ではなく、目には見えない人の心や考え方を表した言葉である。
 ④ それぞれの言葉を通じておたがいをつなぐ概念を共有することが、国境を越えた共生社会を実現することになる。
 ⑤ 国境を越えてモノや人、経済や情報の交流がさらに拡大すれば、言葉の障壁も自然となくなってきた、相互の理解が深まってくるに違いない。

問九

傍線部②、④と同じ漢字を含むものを次の各群の①～⑤からそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は、⑦が

19、④が

20。

- ⑦ 行きかう
 ① 利益をカ^ンゲンする
 ② 選手のコ^ウタイ
 ③ 本をヘ^ンキヤクする
 ④ ダイ^リニンをたのむ
 ⑤ 今までの人生をカイ^コする

- ④ キ^ワ立って
 ① 庶民にはム^エンの話
 ② ゴク^ジヨウのワイン
 ③ エ^ンドウで小旗を振る
 ④ サイ^ゲンなく続く話
 ⑤ コウ^{サイ}を放つ

三

次の各問いに答えなさい。

問一

次の文は門脇厚司氏の著書『子どもの社会力』の一部である。A～Eの順番として最も適当なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は

21。

「人間は社会的動物である」とはよく言われることである。

- A 人間だけがもつ「社会を作る力」といったものがあるとして、人間はそれをどのように発揮し活用することによって社会を成り立たせ維持しているのか。
 B また、そういう特性や能力が人間に備わっているとして、それはヒトの子に先天的に備わっているのか、それとも後天的に学習して獲得していくものなのか。
 C 空気が極端に汚染され人命に害を及ぼすようになって初めて、人は空気がきれいであることの大事さを実感することと同じように、社会の崩壊が進み機能しなくなつてようやく、人は社会を成立させ維持させていた何かが失われたことに気付くのかも知れない。
 D ふだんあたりまえと思っていることでも、こうして、あらためて問い直してみるとよく分かっていないことが多いものである。
 E では、社会的動物であるとは人間のどういう特性ないしは資質能力をいうのか。

だから、前もって社会力の大事さを説明しても無駄ということにはならないだろう。人間だけが持つ、社会を成り立たせる特性とは何なのか。それが形成される仕組みを説明する前にそのことについて考えてみることにしたい。

- ① A ↓ B ↓ D ↓ E ↓ C
② E ↓ D ↓ B ↓ C ↓ A
③ A ↓ C ↓ B ↓ E ↓ D
④ E ↓ B ↓ A ↓ D ↓ C
⑤ A ↓ E ↓ C ↓ B ↓ D

問二 誤字を含む文を一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 22。

- ① 事件当日、この地域の住民が複数の不信人物を目撃しているという。
② 全国の有効求人倍率は1・17倍となり、前月比0・02ポイント上昇した。
③ 三連休を増やすことで、消費拡大など経済波及効果が生まれることを期待した。
④ 完全養殖での生産コストは、設備費や光熱費を考えると天然ものをはるかに上回る。
⑤ 地球温暖化の影響で、局地的な豪雨が増える一方、雨が降らない日も増加しつつある。

— 16 —

◇M1 (054—17)

問三 誤った読み方のものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 23。

- ① 擁護(ようご)
② 謙虚(けんきょ)
③ 匹敵(ひつてき)
④ 礼賛(れいさん)
⑤ 思索(しそく)

問四 対義語の関係になっていないものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 24。

- ① 利益 ↔ 損失
② 破壊 ↔ 建設
③ 強欲 ↔ 食欲
④ 明瞭 ↔ 曖昧
⑤ 単純 ↔ 複雑

— 17 —

◇M1 (054—18)

問五 傍線部の言葉の使い方が適切でない文を一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 25。

- ① この景色はいつも美しいが、木々が色づく秋はことに美しい。
② 受賞の知らせがあったのは、くしくも彼の50回目の誕生日だった。
③ これまでにどのようなことがあったのか、彼はつぶさに語りはじめた。
④ この活動は日本のみならず、ひいては世界のためになることを信じている。
⑤ 出かける間際に、おりよく来客があり、待ち合わせに遅れてしまった。

問六 傍線部の言葉の使い方が適切でない文を一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 26。

- ① 非は自分にあるのではないかという気持ちが頭をもたげてきた。
② A社は商品開発に力を注ぎ、先行するB社に肩を並べるまでになった。
③ 自分の殻を破るには、二の足を踏んで新しいことに挑戦すべきだ。
④ 今すべきことをせずにいると、やがてほそをかむことになる。
⑤ その企業は外食産業にとどまらず、多方面に手を広げて事業を拡大した。

— 18 —

◇M1 (054—19)

問七 ことばの説明が適切でないものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 27。

- ① リマインド(思い出させる、気付かせること。名詞はリマインダー)
② オーセンティック(一般に正しいとされていることに反することから。逆説)
③ ファクター(ある物事や状態が生じるもと。要素)
④ ポテンシャル(可能性として持っている潜在的な力や能力)
⑤ ニュートラル(いずれにも偏らないこと。中立的。)

問八 敬語が適切でないものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 28。

- ① 昨夜のニュースは、ご覧になりましたか。
② 先生、荷物をお持ちします。
③ この件につきましては、お引き受けいたしかねます。
④ ご本人であることを証明するものをお持ちしていますか。
⑤ 紅茶になさいますか。それとも、コーヒーになさいますか。

— 19 —

◇M1 (054—20)

問九 敬語が適切でないものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 29。

- ① A「あの、この近くの田中さんという方のお宅をご存じではありませんか。」
B「すみません。私、地元ではないので。」
- ② A「主人さまはご在宅でしょうか。」
B「ただ今出ておりますが、間もなく戻ります。」
- ③ A「それでは、こちらから改めてご連絡さしあげます。」
B「では、お待ちしております。」
- ④ A「お久しぶりです。」
B「いらつしやるのを心待ちにしておりました。」
- ⑤ A「お客様、明日は何時頃ご出発いたしますか。」
B「十時頃にしようかと思っています。」

問十 この説明が適切でないものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 30。

- ① 一連托生(結果はどうあれ、行動や運命を最後まで共にすること)。
れんたく
- ② 侃侃諤諤(大勢の人が騒ぎ立てるさま。騒ぎ立てて收拾がつかないさま)。
かんかんげつげつ
- ③ 当意即妙(その場に即座に対応して適切な発言や行動をすること)。
- ④ 付和雷同(自分の主義や主張を持たず、むやみに他人の意見に同調すること)。
- ⑤ 是々非々(良いことは良い、悪いことは悪いと、公正に判断すること)。